

基本評価シート

様式

北海道 網走・北見区域

(北海道オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和5年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（網走・北見区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
担当者名	笹川 絵莉子	担当者連絡先	0152-41-0630
捕獲実施事業者	令和5年度北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム（認定事業者）	予算額（※2）	198,199,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	98,729,000円

- （※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。
 （※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。
 （※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み 〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
35頭	11頭	31.4%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
72万頭※ （個体数指数：東部137、北部121、中部107、南部353）	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
34,396頭（R4）	58,581頭（R4）	52,012頭（R4）

※令和4年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、紋別、網走、谷川）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3～15万頭の間と推定

鳥獣関係統計より

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	令和 5 年 11 月 16 日～令和 6 年 3 月 22 日(※委託期間)
実施区域	<p>網走市美岬地区 [網走国定公園]</p> <p>当該地区は、網走国定公園特別地域に含まれ、隣接する能取湖の水面は道指定能取湖鳥獣保護区に指定されている。</p> <p>道が実施しているエゾシカライトセンサス調査では道道 76 号などを調査コースとし、毎年観測を行っているが、近年目撃観察数が増加傾向にある。</p> <p>当地区はエゾシカが通年生息しており、多くの国有林と隣接する農地からなっている。近年、農地への被害が増加しているとともに、美岬地区の周囲を走る道道 76 号にエゾシカが出没することにより、交通事故のリスクも上昇している。</p> <p>網走市によって銃猟及びわな猟（くくりわな、囲いわな、箱わな）が行われている。わなの付近に設置された自動撮影カメラでは、わなに近寄るシカが多数撮影されているが、捕獲数が低迷している。</p> <p>北見市岐阜地区 [網走国定公園、国指定史跡常呂遺跡]</p> <p>砂丘堆積物からなり、地形変化に応じて様々な植生が成立しており、草原性の野鳥及び猛禽類の生息が確認されている。このほか、通年でエゾシカが生息しており、周辺の農地に被害を及ぼしている個体の逃げ込み場所や、冬季には周辺地域から移動してきた個体の越冬地となっている。</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所：希少種等の情報提供や捕獲事業の情報共有を図る。 ・林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・(地独) 北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	(31.4%達成) = (11 実績値) / (35 目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、また GPS 機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）で撮影し、データも併せて添付する。）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ 捕獲現場にて立会 ）</p> <p>※複数チェック可。</p>

捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応することとした。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。</p> <p>受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。</p> <p>捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。</p> <p>また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> 捕獲従事者数：32人 (内訳) 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：32人

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：当該地域においては事業初年度であったことや、網走市美岬地区における捕獲を実施することができなかったことから、目標頭数を達成することはできなかった。しかし、わな猟においては、シカ道や足跡を狙い少数のわなをピンポイントで設置することにより、捕獲効率を下げることなく捕獲することができた。</p> <p>改善点：今年度事業で行った生息状況調査などの結果を参考にすることで、より適切な捕獲目標頭数を設定することが可能になると考えられる。</p>
【実施期間】	<p>評価：積雪状況及び近隣における猛禽類への影響を考慮し、捕獲は12月下旬～2月</p>

	<p>下旬に予定していたが、1月下旬の悪天候などの影響で、捕獲を開始できたのは銃猟、わな猟ともに2月上旬であった。</p> <p>改善点：岐阜地区においては、希少猛禽類の営巣への影響を考慮し、捕獲期間を2月末までとしていたが、本事業において実施した現地踏査の結果、岐阜・美岬の両地区で希少猛禽類の営巣・繁殖兆候は確認されなかったため、次期は3月まで捕獲期間を延長することも考慮したい。</p> <p>一方、生息状況調査結果より、岐阜地区においては1月が最も痕跡や自動撮影カメラの撮影枚数が多く、シカの生息が多いと思われる。</p> <p>捕獲適期に合わせて捕獲を遅滞なく行えるよう、契約事務を前倒しで行い、事業者に対して事務作業の期間を十分に与える。</p>
<p>【実施区域】</p>	<p>評価：美岬地区においては、捕獲を予定していた地点において狩猟者の出入りが確認されたこともあり、山側ではシカの痕跡がほとんどみられなかった。</p> <p>岐阜地区においては、シカの痕跡はみられたものの、捕獲実施可能な地点が少なく、わな猟では設置位置を柔軟に変更することができなかつたり、銃猟では海岸林が密に成立して見通しが効きにくく、1頭狙撃後に他のシカを狙撃することが困難であったりした。</p> <p>改善点：美岬地区においては、狩猟の影響を受けにくい地点を調査し、捕獲実施地点を選定する必要がある。</p> <p>岐阜地区は、海岸林を隔てて公道や農地が隣接しているため、捕獲区域を拡張することが困難である。くくりわなは捕獲期間の柔軟性により、銃猟は捕獲手法の改善により、捕獲効率を向上させることが望ましい。</p>
<p>【捕獲手法】</p>	<p>評価：国指定史跡が存在するため、土地の現状変更が難しい岐阜地区におけるわなとして、跳ね上げ式のくくりわなを用いたことは適切な判断であった。一方、忍び猟においては、捕獲区域が狭く、海岸林で見通しが良くなかったため、逃走したシカを狙撃することが困難であった。</p> <p>改善点：3日間の忍び猟の結果、シカの逃走ルートがほぼ同様であったため、逃走ルートに待ちを配置する巻き狩り猟が有効であると考えられる。しかし、捕獲区域の狭さや生息数の少なさから、銃猟による大量捕獲は望めないものとする。</p>
<p>2. 体制整備に関する評価及び改善点</p>	
<p>【実施体制】</p>	<p>評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体とがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p> <p>改善点：今後もコンソーシアムによる事業実施となる場合には、コンソーシアム構成員間の連絡調整体制を確実に構築させる必要がある。</p>
<p>【個体処分】</p>	<p>評価：捕獲個体のすべてをペットフード原料として有効活用することができた。</p> <p>改善点：選択した猟法及びエゾシカ肉処理施設との距離を考慮すると、最善の対応であったと考えられる。次年度、美岬地区において捕獲を実施する場合は、斜網地区の肉処理施設と情報共有を行い、可能な限り捕獲個体を有効活用する。</p>

【環境配慮】	<p>評価：捕獲実施区域の近辺に希少猛禽類が営巣している可能性があったため、捕獲実施期間は2月までとした。</p> <p>改善点：猛禽類の営巣は確認されなかったため、捕獲期間を延長することを検討する。</p>
【安全管理】	<p>評価：地域住民への事前周知、現地入口等での注意看板設置、当日の保安要員配置、及び捕獲従事者の事前打ち合わせ等に加え、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。</p> <p>改善点：新たな捕獲区域及び新たな捕獲手法を導入する場合は、適宜新たに適切な安全管理体制を構築する必要がある。</p>
<p>3. その他の事項に関する評価及び改善点</p> <p>美岬地区における本事業の生息状況調査の結果、多数のエゾシカが生息している状況は確認されなかった。しかし、国有林で実施されているエゾシカ簡易影響調査では、糞や食痕からシカの「強い影響がある」または「かなり強い影響がある」と評価された地点が点在し、能取半島全体ではエゾシカが多く生息していると考えられることから、越冬場所を明らかにする調査を行う必要がある。</p> <p>岐阜地区に隣接するワッカ地区では、北見市による有害駆除（銃猟）が行われており、ワッカ地区での捕獲実施後に岐阜地区で自動撮影カメラの撮影又はくくりわなによる捕獲があった。因果関係は明らかになっていないが、ワッカ地区での銃猟により警戒したシカが岐阜地区に移動してきた可能性がある。次期においては、本事業と北見市の捕獲実施のタイミングを連携させることが有効と考えられる。</p>	
<p>4. 全体評価</p> <p>美岬地区においては、今期事業の生息状況調査の結果を受け、シカの越冬場所を改めて調査した上で捕獲区域を設定する必要がある。</p> <p>岐阜地区においては、限られた捕獲区域であったが、事業者が得意とするシカ道や足跡を狙って少数のくくりわなを設置する手法により、生息数が少ないエリア・時期においても高い捕獲効率を実現することができた。一方、銃猟においては、捕獲区域の狭さや、海岸林による見通しの悪さなどのため、逃走したシカを狙撃することができず、捕獲頭数が伸び悩んだ。次期は銃猟自体の実施を再検討する、もしくは銃猟の手法を改善する必要がある。</p> <p>また、両地区において猛禽類の営巣が確認されなかったため、捕獲可能期間を3月頃まで延長し、事業者に対し捕獲期間を選択させる余地を与えることが望ましい。</p>	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

<p>市町村による許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない箇所でも集中的に実施したことにより、生物多様性への影響の軽減、周辺地域の農林業被害及び市街地への出没を軽減させるほか、市町村の有害駆除と連携することにより、エゾシカの逃避地を作らせず、地域全体の捕獲効率向上が期待できる。</p>

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹： 44 人日

事前調査人日数概数※²： 20 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 24 人日

項目	令和5年度 （事業年度の値）	令和4年度 （前年度の値）	増減の傾向

捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	24 人日	－ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
--------------------	-------	------	---

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 75 人日

事前調査人日数概数※2： 20 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 55 人日

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	161 基日	－ 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	2 頭	－ 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	60 頭	－ 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.50	－	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.00	－	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	27 頭	49 人日	0.55 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	11.2 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	2 頭	24 人日	0.083 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	2.5 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
-------------------------------------	---	----	---	---

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	9頭	— 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.36	—	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.00	—	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	9頭	161 基日	0.056 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： _____ 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： _____ 11 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

